

LPGC Report

エルピーガス振興センターレポート

20 November 2002

第8回 国際エネルギーフォーラム併催展示会パネル出展	2
LPガス業界関連 ニュース	4
・第1回 ヒートアイランド対策関係府省連絡会議	
・新タイプ浴室暖房乾燥機の発売	
経済産業省 ニュース	5
振興センター ニュース	7
・プロジェクト進捗状況『石油ガス高効率エンジンの開発』	
・第10回 中国研修生修了式	
・世界LPガスフォーラム バンコク大会	
・設備助成事業室からのお知らせ	
事務局からのお知らせ	10
編集後記	11

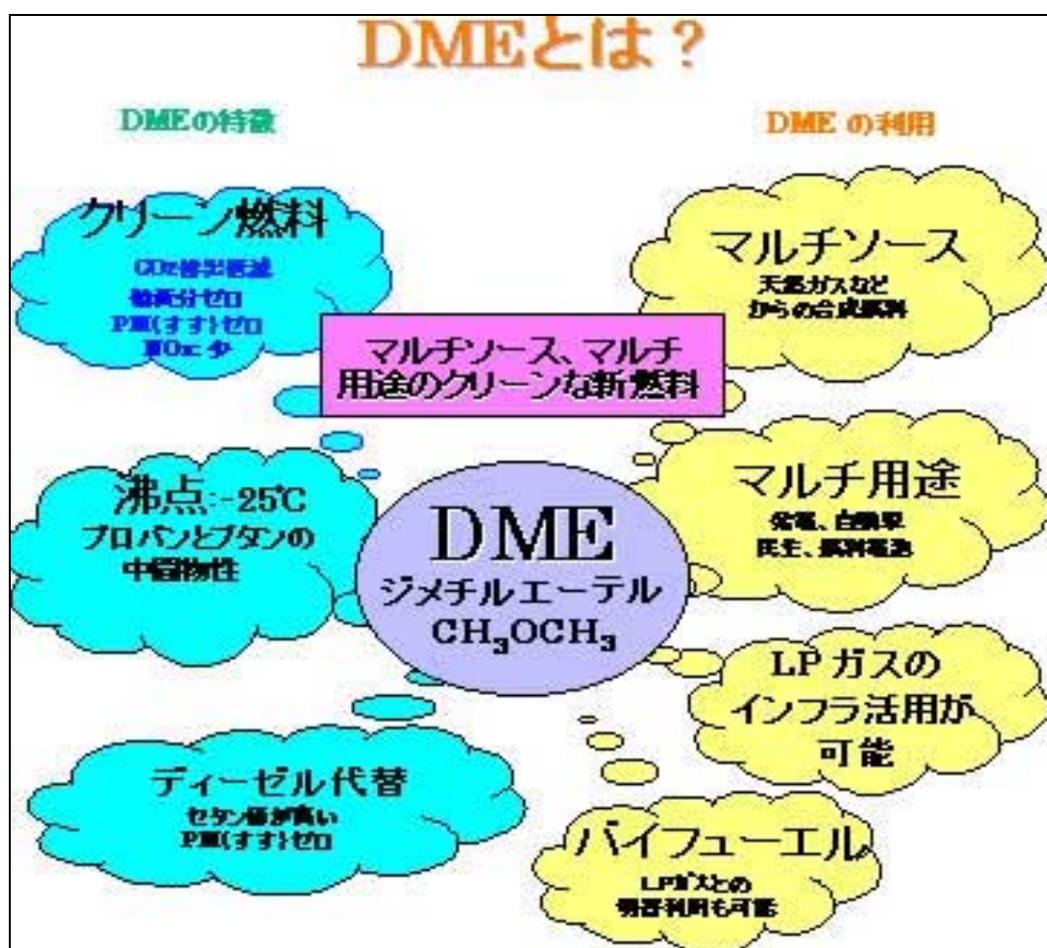
平成14年9月21日から23日、大阪国際会議場に於いて 国際エネルギーフォーラムが初めて日本で開催され、当センターでは(独)産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、(財)国際石油交流センター(JCCP)、(財)中東協力センター等の展示と共にDMEの紹介パネルを石油公団、(財)石炭利用総合センター(CCUJ)と共催で出展しました。展示会は会場の一角にわが国のエネルギーに関する最先端技術及び産油国協力事業をアピールすることで地元大阪の産業紹介とともに開催されました。

展示はDMEの概要をパネル化し「DMEとは」から「基礎物性、製造法、流通、用途、研究開発」など8枚にまとめ、現状の調査・技術状況を紹介します。又実際のDMEサンプルをプロパンと比較して並べ、特別仕様の簡易コンロによる燃焼なども参考展示しました。

会議で平沼経済産業大臣の新技术開発の紹介もありGTL(天然ガスから液体燃料製造)技術と合わせ質問も多く、南アフリカ、フィリピン、ミャンマー、リビア、中国など多くの国の関係者が来られ関心を見せられました。石油関係者、報道関係の方の質問でも原料問題、競合燃料との経済性、研究開発状況などの質問も多く、たくさん用意した展示パネル内容を書いたリーフレット、センター紹介パンフレットの活用も出来、DMEの紹介の一役を担うことが出来ました。

第8回国際エネルギーフォーラムは石油の生産国と消費国の閣僚の間で行われた、いわゆる産消会議で、11月19日開催の石油輸出国機構(OPEC)総会(原油生産枠の据え置きなどを取り決めた)に引き続き開催され、65ヶ国10国際機関のエネルギー関連大臣などが出席しての大きな国際会議でした。今回のエネルギーフォーラムでは石油市場の安定化に向けた産消協調、アジア地区での需給情勢の認識の共有化、天然ガスの重要性の確認、これらの常設事務局の役割と全体的な枠組みについて原則合意されました。次は2年後にオランダで開催される予定です。

また、今回のエネルギーフォーラムには共催のイベントがたくさんあり、地元大阪でのエネルギー・産業に係わるものなどが開催されました。日本エネルギー経済研究所主催のエネルギーシンポジウムもその一つで、中長期のエネルギー需給と市場問題を生産及び消費国の代表による基調講演そしてパネルディスカッションが行なわれ、平沼経済産業大臣、サウジのナイミ石油大臣などの講演で始まりました。





展示会場にて：DMEパネルに立ち寄られた平沼経済産業大臣(右)はDMEの液状サンプル容器を手に取り見ながら、「これがDMEですか」と興味を示され、DMEコンロに着火しますと「きれいな炎で燃焼していますね」と感想を述べられていました。



パネル展示風景

第1回 ヒートアイランド対策関係府省連絡会議開催される

ヒートアイランド対策については、今後メカニズムの究明と具体的対策が次第に明確になっていくものと思われます。基本的には、排熱となって建物の外に排出される熱エネルギーがその大きな原因であることは疑う余地のないものと考えます。従って、排熱ロスを如何に少なくし、エネルギー利用の総合効率を上げるかが大きな決め手となるものと考えます。全国の消費者に熱エネルギーを供給するLPガス業界として、この動向は注視しておく必要があると考えます。

ヒートアイランド現象*により、ここ100年で日本の大都市の気温は2～3℃上昇、地球温暖化速度の5倍にもなっています。政府はかねてより、ヒートアイランド対策は都市の環境対策の重要課題として捉えており、平成14年3月に閣議決定された「規制改革3ヵ年計画」の中で、関係各府省からなる横断的な推進体制を組み、この現象のメカニズムを解明し、解消のための調査・分析を進める等の対策を講じることを決めました。これを受け、具体的施策推進のため、平成14年9月6日(金)第1回ヒートアイランド対策関係府省連絡会議が開催されました。

構成メンバー

- 内閣官房都市再生本部事務局参事官
- 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課長
- 国土交通省総合政策局環境・海洋課長
- 国土交通省総合政策局国土環境・調整課長
- 環境省環境管理局総務課長
- 環境省環境管理局大気環境課大気生活環境室長

議事概要

- 各府省における施策の紹介
 - 資源エネルギー庁
 - ①住宅建築物高効率エネルギーシステム補助事業(高効率給湯機等)
 - ②高性能吸収式冷温水機開発
 - 国土交通省
 - ①燃料電池等新エネルギーの住宅への導入のためのモデル事業
 - ②北海道における環境循環型燃料電池活用社会形成のモデル事業
 - 資源エネルギー庁・国土交通省・環境省低公害車・低燃費車に係る特例措置(自動車税、自動車取得税の減免)の延長等LPガス業界に関連する施策が紹介されています。
- 今後の進め方
 - ①規制改革推進3ヵ年計画に沿った大綱の策定の検討
 - ②各界の関係者との情報交換の推進
 - ③海外事例等の状況把握

ヒートアイランド現象*とは……

都市域を覆っている高温の大気の塊のこと。都市では郊外と比べ熱収支が異なり、その上、排熱活動・生活・燃料消費などの影響も加わって周辺よりも高温となる。ヒートアイランドは冬に著しく、また1日のうちでは夜に著しい。 【科学大辞典 国際科学振興財団】より

家庭での給湯需要を喚起する新しいタイプの浴室乾燥機が発売されました

日本人は世界一の風呂好きですが、浴室環境についてはまだまだ発展途上国と言われていています。欧米では浴室に暖房が付いている方が圧倒的に多いのです。浴室での冬場の暖房は、高齢者の入浴中の突然死予防等にもなり、また夏場の浴室乾燥は衣類乾燥やカビ対策にもなり、主婦に大変喜ばれます。このような浴室暖房乾燥機に、新しい機能(マイナスイオン発生器)をつけた新しいタイプの浴室暖房乾燥機が、高木産業(株)から発売されました。このマイナスイオンは肩凝りや疲労の解消に大変効果があると言われていています。

本浴室暖房乾燥機のシリーズとして、風呂も沸かせて給湯できるコンデensingタイプのもが発売されています。このコンデensingタイプとは、燃焼排ガス中の潜熱を回収し、熱源として再利用するもので、従来よりエネルギー利用効率が10%以上も向上する能力をもっているタイプです。これは現在、国の省エネルギー対策の一環として、当振興センターで推進している補助事業(省エネ性に優れた潜熱回収型給湯器の普及促進)の目的に合致し、かつ補助の対象となるものです。この新タイプの浴室暖房乾燥機の普及拡大に大いに期待したく、関係各位にはこの補助制度も大いに活用していただくことをお勧めいたします。

第1回都市熱エネルギー部会

平成14年9月27日、資源エネルギー庁は「総合資源エネルギー調査会都市熱エネルギー部会(委員名簿:資料1)」を開催しました。第1回の同部会では「昨今のエネルギーを取り巻く各種情勢の変化を踏まえた今後のガス事業制度の在り方はいかにあるべきか。」の平沼赳夫経済産業大臣の諮問が付託され、今後の検討の進め方について検討を行い、審議を深化させるため同部会の下部組織である「ガス政策小委員会(委員名簿:資料2)」において実務的・専門的な検討を行うこととしました。

今後同部会及び小委員会においては、①効率的なガス供給基盤とガス供給体制の整備、②ガス需要家の利益の増進、などの基本的な視点に立って、ガス市場整備基本問題研究会(平成13年1月設置。資源・燃料部長及び電力・ガス事業部長の私的研究会)における検討結果を踏まえた上で、その実現のための具体的な制度の在り方はどうあるべきかについて包括的な検討をすることとしました。

第1回ガス政策小委員会

平成14年10月8日、標記委員会が開催されガス事業制度改革の基本的な考え方と検討すべき課題について検討されました。

1. ガス事業家の選択肢の拡大と需要家利益の確保
 - (1) 自由化範囲の拡大について
 - (2) 大口許可制について
 - (3) 卸市場の活性化について
 - (4) 簡易ガス事業の原料選択の在り方について
2. 効率的なガス供給基盤の整備とその有効利用の促進の在り方
3. エネルギー市場の公正競争の確保
4. 料金制度その他
5. 保安制度に関する検討

第2回ガス政策小委員会

平成14年10月22日、標記委員会が開催され効率的なガス供給基盤の整備とその有効利用の促進の在り方について検討されました。

今後のスケジュール(案)は次の通りとなっています。

都市熱エネルギー部会	ガス政策小委員会
11月21日(木)PM 第2回	11月8日(金)PM 第3回
	12月6日(金)PM 第4回
	12月13日(金)PM 第5回
12月19日(木)PM 第3回	

資料1 総合資源エネルギー調査会 都市熱エネルギー一部会委員名簿

(敬称略・五十音順)

植草 益	東洋大学経済学部教授 < 部会長 >
秋田 一雄	東京大学名誉教授
石橋 幸弘	社団法人日本簡易ガス協会会長
上原 英治	東京ガス株式会社代表取締役社長
岡田 久	天然ガス鉱業会会長
兒島 伊佐美	電気事業連合会副会長
合田 宏四郎	社団法人日本ガス協会副会長・専務理事
佐藤 満秋	財団法人日本ガス機器検査協会理事長
鈴木 孝男	社団法人日本自動車工業会副会長・専務理事
高部 豊彦	日本電信電話株式会社代表取締役副社長
田嶋 義明	全国ガス労働組合連合会中央執行委員長
鶴田 俊正	専修大学経済学部教授
野村 明雄	大阪ガス株式会社代表取締役社長
八田 達夫	東京大学空間情報科学研究センター教授
兵頭 美代子	主婦連合会副会長
村瀬 三郎	社団法人日本エルピーガス連合会会長
横倉 尚	武蔵大学長
若杉 和夫	石油鉱業連盟会長
渡辺 光代	日本生活協同組合連合会理事
渡 文明	石油連盟副会長
	計 20名

資料2 総合資源エネルギー調査会 都市熱エネルギー一部会 ガス政策小委員会委員名簿

(敬称略・五十音順)

鶴田 俊正	専修大学経済学部教授 < 委員長 >
井手 秀樹	慶應義塾大学商学部教授
鷓 浦 博夫	日本電信電話株式会社取締役
小熊 竹彦	日本生活協同組合連合会政策企画部部長
海部 孝治	電気事業連合会事務局長
黒田 昌裕	石油資源開発株式会社顧問
合田 宏四郎	社団法人日本ガス協会副会長・専務理事
國府 省一郎	帝国石油株式会社代表取締役副社長
古城 誠	上智大学法学部教授
鈴木 孝男	社団法人日本自動車工業会副会長・専務理事
高須 國廣	社団法人日本エルピーガス連合会副会長
田嶋 義明	全国ガス労働組合連合会中央執行委員長
手嶋 正之	社団法人全国エルピーガス卸売協会業務委員会委員長
鳥原 光憲	東京ガス株式会社取締役常務執行役員
中原 晟介	日本LPガス協会会長
八田 達夫	東京大学空間情報科学研究センター教授
兵頭 美代子	主婦連合会副会長
松村 敏弘	東京大学社会科学研究所助教授
山浦 紘一	石油連盟常務理事
吉岡 征四郎	大阪ガス株式会社常務取締役
米田 正幸	社団法人日本簡易ガス協会副会長
	計 21名

プロジェクト進捗状況 『石油ガス高効率エンジンの開発』

本事業は、ディーゼル自動車主流である中型商用車の分野で、LPガスを燃料として高効率化による省エネルギー・温室効果ガスの抑制、低公害化による環境改善を達成する高効率LPガスエンジンを開発することを目的とし、平成11年度より研究開発を実施しています。具体的には車両総重量8トン級、最大積載量4トン級の中型商用車を製作・評価し、最終的に中型商用車の実用化を目指しており、中型商用車に搭載するLPガス液直接筒内噴射式エンジンを開発しようとしています。

開発目標および研究開発内容は以下のとおりです。

①熱効率

車種	高効率 LPガスエンジン車	ディーゼルエンジン車
13モード平均熱効率	30~32%	30~35%

②排出ガス(G13モード)

	NOx(g/kWh)	HC(g/kWh)	CO(g/kWh)
高効率LPガス車目標値	1.4	0.2	0.01
規制値			
ガソリン・LPG(13年度)	1.4	0.58	16.0
ディーゼル (15年度)	3.38	0.87	2.22

* 規制値は、車両総重量8トンの車両が該当する値

初年度は、筒内直噴LPガスエンジンの基本設計、製作を行いました。2年度において中・低速域では、ディーゼルエンジン並みの動力性能を確保出来ることが分かりました。3年度の昨年度は、高速・高負荷域においても目標出力を確保し、全域にわたり目標としているディーゼルエンジン並の出力を得ることが出来ました。しかし、高速・高負荷域においては、インジェクタの噴出性能が安定しないことから、長時間出力を維持できないことが分かりました。

今年度は、プロジェクト最終年度であり、残された時間は少なくなりましたが、更なる検討を行い、現在までに噴出性能が不安定となる原因を究明致しました。今後は、インジェクタの改良を行い噴出性能の安定化を図る予定です。排ガス性能に関して、NOxは、触媒システム改良により、NOx浄化率の向上が図られ、目標を達成できる見通しです。HC(ハイドロカーボン)については、噴射量が少ない状態では、排ガス温度が低いため、酸化触媒の反応が悪く、HC排出量が多い状態であるため、更なる検討を行います。

このような検討により目標性能を達成し、今年度末には開発したエンジンを車両に搭載し、試験走行を行う計画です。

本件に関するご意見、お問い合わせ等につきましては、技術開発部担当：山本(佳之)宛ご連絡下さい。

第10回 中国研修生修了式

当センターではLPガスに関する国際交流及び国際協力の一環として、平成5年度から中国からの研修生を招へいしLPガス研修生受入事業を行っています。本年は8月23日にその第10期生の修了式が当センターで行われました。

第10期生は上海ガスグループから張青氏を団長とする10名が派遣されました。

1ヶ月にわたる東秩父村での非実務研修を経て、受入企業である㈱サイサン、新コスモス電機(株)、(株)ケーイージー、富士工器(株)、伊藤工機(株)の各社に配属され実務研修を行い、このほど無事研修を終えました。

帰国後は中国LPガス業界の第一線での活躍と今後の日中友好の橋渡しとしての役割が期待されています。

なお、10年間続けられた当事業は、今年度をもってひとまず終了となります。長い間当事業に対しご支援をいただきました各受入企業をはじめとする関係の方々へのこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

本件に関するご意見、お問い合わせ等につきましては、調査研究部担当：中村(雅彦)宛ご連絡下さい。

世界LPガスフォーラム バンコク大会

第15回世界LPガスフォーラム バンコク大会が開催されました。

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 1. 大会名称 | : 第15回世界LPガスフォーラム |
| 2. テーマ | : 「LPガスー経済・社会の発展のために供給されるクリーンエネルギー」 |
| 3. 開催期間 | : 2002年10月24日(木)～26日(土) |
| 4. 開催場所 | : Shangri-La Hotel Bangkok |
| 5. 主催者 | : 世界LPガス協会(WLPGA) |
| 6. 会議、行事等 | : 10月24日(木) |
| | WLPGA 理事会 14:00～16:00 |
| | WLPGA 総会 16:30～18:00 |
| | レセプション 19:00～21:00 |
| | 10月25日(金) |
| | ・セッションⅠ LPガスの国際市況見通し |
| | ・セッションⅡ LPガスの地域社会への貢献 |
| | ・研究会 LPガスの郊外への用途展開 |
| | 10月26日(土) |
| | ・セッションⅢ LPガスの新しい市場と技術 |
| | ・セッションⅣ 成長するオートガス市場への挑戦 |

今回のフォーラムには48ヶ国、400人以上が参加しました。また、理事会には当センター吉田理事長が理事として出席いたしました。

開発途上国の潜在的LPガス需要が大きいことが報告されました。また環境問題への対応の一環として、開発途上国へのLPガス供給の重要性が叫ばれました。

国際市況見通しのセッションでは我が国でも重要課題となっている供給多様化、価格の安定について産ガス国と消費国間で活発な意見交換が行われました。次回は来年10月、サンチャゴ(チリ)にて開催の予定です。

本件に関するご意見、お問い合わせ等につきましては、調査研究部担当:中村(雅彦)宛ご連絡下さい。

設備助成事業室からのお知らせ

LPガス高効率給湯器導入補助制度の募集開始について

振興センターは、国のLPガス高効率給湯器導入補助制度(住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金(高効率給湯器導入支援事業)(LPガスを燃料とする潜熱回収型給湯器))の受付を9月20日から開始しました。

この制度は、地球温暖化対策を目的として、従来型給湯器に比べて省エネルギー性に優れた潜熱回収型給湯器の普及促進を図るため新設されたもので、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が指定した給湯器を購入するエンドユーザーに対して、その費用の一部を補助するものです。

補助金予算額は、都市ガスを含めて2万台で9億2千400万円となっており、応募の受付は先着順とし、申請が予算に達した時点で応募を終了致します。

1. 補助対象給湯器

下記の基準を満たした高効率給湯器のうちNEDOが指定した給湯器であることが条件です。

- ①潜熱を回収するための熱交換器を備えていること。
- ②給湯熱効率が90%以上であること。
- ③LPガスを使用すること。
- ④定格給湯能力が60号以下であること。

補助対象機器(LPガス版)一覧表

平成14年9月18日時点

分類	給湯能力(号) 適用範囲:A	代表給湯 能力(号)	機 能	設置 場所	補助対象給湯器		従来機器の 基準額(円)	補助金上限額(円)		
					製造事業者等名	機種名(機器型式)		特殊工事分	機器分	合計
I	A ≤ 16	16号	給湯単能機	屋内	高木産業㈱	GS-160GE-1	115,400	13,000	34,000	47,000
II	16 < A ≤ 20	20号	給湯単能機	屋外	リンナイ㈱	RUXC-K2010W	86,200	13,000	35,000	48,000
						RUXC-K2000W				
						RUX-K2010W				
						RUX-K2000W				
III	20 < A ≤ 30	24号	給湯単能機	屋外	リンナイ㈱	RUXC-K2400W	112,500	13,000	26,000	39,000
						RUX-K2400W				
IV	30 < A ≤ 40	32号	給湯単能機	屋外	高木産業㈱	GS-320GW	203,400	13,000	21,000	34,000
V	40 < A ≤ 60	50号	給湯単能機	屋外	㈱ノーリツ	GQ-5012WZ	323,100	13,000	48,000	61,000
VI	20 < A ≤ 30	24号	風呂給湯器 全自動	屋外	高木産業㈱	GX-242ZW	227,100	13,000	28,000	41,000
VII	20 < A ≤ 30	24号	風呂給湯器 自動	屋外	高木産業㈱	GX-S245AW	186,600	13,000	28,000	41,000
						GX-S245AR				
VIII	20 < A ≤ 30	24号	温水端末 対応風呂 給湯機 全自動	屋外	大阪瓦斯㈱	135-3100	266,700	13,000	31,000	44,000
						135-3200				
					高木産業㈱	GH-241ZW				
						GH-S245ZW				
						GH-S245ZWH				
					㈱ノーリツ	GTH-C2432AWX6H				
						GTH-C2432AWX6H-50				
					北海道瓦斯 ㈱	XT-4701ARS-AQ				

※補助金の上限額は、給湯能力や機能によって異なります。

※上記の金額は、消費税抜きの額を示しています。

2. 補助対象者及び申請者

NEDOが指定した給湯器を購入し常時使用する方が補助対象者になります。また、本制度の申請方式は2種類あり、申請者によって申請方式が異なります。

一般用申請 : 個人、法人又は既築、新築を問わず補助対象給湯器を購入、設置する方は、一般用申請になります。

予定枠申請 : 販売を目的とした分譲又は建売等の住宅及び建築物に補助対象給湯器を導入、設置する方(予定枠申請者という)は予定枠申請になります。
なお、予定枠申請の場合、補助金を受けられる方は、予定枠申請されている住宅及び建築物を購入される方(確定申請者という)になります。

3. 補助対象費用

「機器費」と設置工事のうち「特殊工事費」が補助金の対象になります。

機器費 : 潜熱回収型給湯器本体の購入に要する費用を対象とし、リモコンなどの付帯装置に対する費用は含まず。

特殊工事費 : 潜熱回収型給湯器設置に伴うドレン配管工事に係わる工事費用を対象とし、給湯器を設置する工事に対する費用は含まず。

4. 補助金額

- ①機器費の補助金額は、潜熱回収型給湯器機器費と従来機器の基準額との価格差の1/2以内を補助します。
②特殊工事費の補助金額は、潜熱回収型給湯器設置に伴うドレン配管工事費の1/2以内を補助します。
*ただし、潜熱回収型給湯器の機器分類ごとに機器及び特殊工事費の補助金上限額が設定されています。
また、補助金には消費税を加算して申請出来ます。
*補助金の上限額は、補助対象機器一覧表を参照下さい。

6. 募集期間(予定)

	一般用申請	予定枠申請
募集開始日	平成14年9月20日(金)	平成14年9月20日(金)
募集締切日(必着)	平成15年2月10日(月)	平成15年2月10日(月)
補助事業完了報告書提出締切日	平成15年2月28日(金)	平成16年1月30日(金)

7. その他

制度の詳細内容は、振興センターのホームページ(<http://www.lpgc.or.jp>)をご参照下さい。また、申請書も同様にホームページからダウンロードできます。

補助制度に関するご意見、お問い合わせ等につきましては、設備助成事業室担当:内田 一雄・内田 浩・並河宛ご連絡下さい。(設備助成事業室直通TEL:03-3507-0047)

2002 エルピーガス振興センターセミナー開催について

テーマ「燃料電池の開発の現状と将来について」

標記の件下記の要領で研究セミナーを開催致します。
時節柄ご多忙中とは存じますが、多数の皆様のご参加をお待ち致しております。

1. 日 時 : 平成14年12月4日(水) 10:00~16:45
2. 場 所 : 航空会館 7F(701・702・703会議室)
東京都港区新橋一丁目18番1号 TEL 03-3501-1272
3. 受講料 : 1名様 10,000円(昼食付き)
4. 申込方法 : 申込書をFax又は、E-mailで、お送り下さい。
(申込書は、当センターのホームページに掲載しております。)
5. 申込期限 : 平成14年11月15日(金) 尚、定員(150名)になり次第、締め切らせて頂きます。
6. 講演内容 :

基調講演 「燃料電池の現状と将来展望」 (LPガス業界は燃料電池とどう係わるか)	講師	理学博士 金谷 年展 慶応義塾大学大学院
「都市ガス業界の燃料電池への取り組みについて」	講師	里見 知英 東京ガス株式会社
「住宅メーカーのLPガス家庭用燃料電池への取り組みについて」	講師	富江 徹 積水化学工業株式会社
「(財)エルピーガス振興センターのLPガス家庭用燃料電池への取り組みについて」	講師	上田早苗 エルピーガス振興センター
「LPガス業界の燃料電池への取り組みについて」	講師	池松正樹 新日本石油株式会社

本件に関するご意見、お問い合わせ等がございましたら、調査研究部担当:木村宛ご連絡下さい。

9月17日に小泉首相が日本の総理として初めて北朝鮮を訪問し、金正日総書記と会談して拉致を認めさせ二度と起こさないと誓わせ、不審船についても認め謝罪させましたが、拉致問題では8人が死亡し5人しか生存していないとの説明には日本の誰しもが絶句せずにはいられなかったことと思います。

拉致被害の生存者5人が日本に帰国し、郷里で親子兄弟幼友達と抱き合う姿に心を打たれ安堵しましたが、交渉は全くの入り口で核開発問題も浮上しこれからが大変ですが、辛抱強い話し合いによりアジアに平和をもたらすようにと願うばかりです。

北朝鮮関連のニュースが席卷する中、10月8・9日には小柴昌俊さんと田中耕一さんのノーベル賞受賞が決まり歓喜しました。特に田中耕一さんは研究一筋のサラリーマンで、考えもしなかった受賞は我々にも何か希望を与えてくれたように思います。

この2件中味は全く違いますが、何れも日本人を意識させるニュースでした。

さて、LPガスの国際価格ですが、昨年末から低く安定して推移し8月のCP価格はプロパンが235\$、ブタンが225\$でしたが、10月にはプロパン・ブタンとも295\$に上昇し、更に11月には327\$と急騰して、アラビアンライト原油比も8月の110%から一気に約150%へと急騰しております。

これは、日本の在庫が少ない中で中国が輸入量を増加させていること等が影響したようですが、日本としてはこの冬に向けて大変だと思いと、アジアの消費国が連携して対処していかなければならないと思うところです。

国内では、いよいよ総合エネルギー調査会都市熱エネルギー部会が始まりました。

同部会冒頭の資源エネルギー庁長官のご挨拶は、エネルギーセキュリティーの確保、地球温暖化防止策の実施から日本のエネルギー政策は急速に天然ガスにシフトしつつあることを示唆するものでした。

その様な中で、当センターはLPガス代替としてのDMEにも力を入れ、LPガス産業の振興のため何をするべきか対処していきたいと思っています。

当レポートの誌面でも触れましたが、当センターでは9月20日より潜熱回収型給湯器導入に対する補助金の交付業務を実施しています。

当事業は地球温暖化防止に向けた省エネルギー対策で、LPガス業界としても積極的な推進が必要である一方でLPガスの需要拡大のためまたとないチャンスでもありますが、1ヶ月経過した状況での申請実績は電力、都市ガスに圧倒的な後れをとっています。

この後れは当事業に対するLPガス販売事業者、消費者への宣伝が不足していたと当センターとしても反省しているところで、現在日本LPガス協会、(社)全国エルピーガス卸売協会、(社)日本簡易ガス協会、(社)日本エルピーガス連合会、一般及び業界新聞その他の媒体を通じて盛んにPRをお願いしている状況です。

皆様方には潜熱回収型給湯器の導入促進に一層のご協力方宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、当センターでは11月8日に第12回研究成果発表会を、12月4日には燃料電池セミナーを予定しています、多数の方のお越しをお待ちしています。

()



〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目19番5号
虎ノ門一丁目森ビル
TEL 03-3507-0041 (代表) FAX 03-3507-0048
03-3507-0047 (設備助成事業室)

ホームページURL: <http://www.lpgc.or.jp>
Eメールアドレス: info@lpgc.or.jp

送付先変更等のご連絡は、現在の送付先と変更後の送付先を明記の上、FAX又はEメールでお願いします。